

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (四国)	良く なっている やや良く なっている	－	－	－
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上はほぼ前年並みで、特に高額なコンサート前売券がよく売れている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・11月も気温が低めに推移し、比較的単価の高いアウターの販売が増え、売上に貢献している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	販売量の動き	・11月は曜日の影響で前年より売上が伸びているが、12月はその反動が来ると予想している。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・来客数が増え、売上が増加した。12月の予約状況も好調で、少しずつ回復を続けている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新機種が出揃い、冬春商戦に期待している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・月間販売目標を若干上回る水準で推移している。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・10月に比べて、契約数やイベントの来場者数が増加した。
	変わらない	商店街（代表者）	それ以外	・総選挙では保守勢力が安定多数を確保する可能性が高いことから、選挙後は当面アベノミクスによる経済政策が功を奏すると思う。ただし、先行きは不透明な状況が続き、少なくとも地方再生、地方活性化にまで経済政策の影響は及ばない。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	お客様の様子	特に変化はない。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・来客数は中旬まで減少していたが、月末にかけて回復した。事務所や店舗の移転祝いの商品の売上が増えた。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・今月初旬は気温が低かったので冬物が売れ始めたのに、総選挙が決定した月末から売上が止まっている。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・食品や大型専門店などのデイリー商材は回復傾向にあるものの、主力の衣料品や高額品は依然として回復が遅れている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・全体的に消費税増税の影響から抜け出せていないと感じる。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・客単価は商品の値上げ等の影響で上向いており、売上は増加している。ただし、商品単価上昇により他店との競合が進み、来店客数が伸びていない。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数は鈍い動きが続いている。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・商品単価上昇により売上は前年と比べて若干プラスで推移しているが、買上点数と来客数は横ばいである。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・節約モードは過ぎたように感じられる。プラス1品や飲料のセール品以外にも動いているなど、消費マインドに変化が見られる。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・天候や気温に左右されるが、来店客数が継続して前年割れを起こしている。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・客数・販売量はやや回復傾向にあるが、単価が下落しており、景気回復とは言えない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・消費税増税から7か月経過したが、落ち込んだ販売量は依然回復せず、前年並みの水準に戻る気配がない。収益回復に向けて取り組んでいる。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・軽自動車は好調に推移しているようだが、当社においては期待していた程の回復が見られない。11月に新型車を発表したものの来店客数はわずかに増えただけで、商談成立にも時間がかかり、依然厳しい状況が続いている。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・11月に入っても新車受注は減少したままで、四国の販売店の数字も思ったほど回復していないため、新車販売が前年を上回るのは難しい状況にある。上向くとしたら、2月になると思う。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・周年祭を開催したことや同業他社の廃業等により、11月は少し忙しかった。

	その他小売 〔ショッピング センター〕（副 支配人）	お客様の様子	・暖冬のため、冬物衣料の動きが悪い。若干の単価上昇で、何とか前年並みを維持している。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・お遍路のほかに貸切や観光の仕事も入り、2～3か月前と同程度の売上が確保できている。街中での流しはなかなか売上が伸びないが、忘年会などで少しは回復すると期待している。	
	通信会社（企 画）	お客様の様子	・引き合いが少し減ってきたのは季節要因によるもので、変動はないと判断する。	
	観光遊園地（職 員）	お客様の様子	・観光客に変動はない。	
	ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・週末の予約状況が悪く、11月は非常に悪い。	
	美容室（経営 者）	お客様の様子	・相変わらず客単価が低く、来客数の減少も続いている。また、来店周期も長くなっている。	
やや悪く なっている	商店街（代表 者）	それ以外	・秋冬物商戦が始まっているが、特に商店街の中核顧客である中高齢者の購買意欲が減少している。また、商店街の飲食店等では忘年会等のキャンセルも発生している。	
	商店街（事務局 長）	販売量の動き	・消費税増税や円安が家計収支を圧迫し、主婦を中心に消費は低迷している。特に高額品の動きが弱く、シニア層を除いて消費の拡大は望めない。	
	一般小売店〔酒 類〕（経営者）	販売量の動き	・主要取引先における忘年会の予約状況は低調である。	
	一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	お客様の様子	・消費者の財布のひもが固い。物を買わない。	
	衣料品専門店 （総務担当）	お客様の様子	・来店数が減少し、売上も低迷している。例年なら今の時期は冬物衣料が多く動くが、今年は弱く、単価の低い軽衣料へ流れており、儉約志向が見られる。	
	乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・11月は新車受注が前年に比べて大幅に減少しており、消費税増税の反動からまだ抜け出せていない。	
	スナック（経営 者）	それ以外	・同業他社の客足も回復していない。	
	都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・客数は低迷を続けている。	
	旅行代理店（支 店長）	販売量の動き	・円安、エボラ出血熱の感染拡大、イスラム国や香港情勢等の影響で、海外旅行販売が落ち込んでいる。特に、単価の高いヨーロッパ方面の売上が悪化している。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・顧客の給料が全然上昇しないという声が多く、売上は伸び悩んでいる。	
	通信会社（支店 長）	来客数の動き	・例年は11月中旬から来客数が増えるのに、今年はあまり増えてこない。	
	競艇場（職員）	販売量の動き	・11月は本場開催が19日と多く生まれ、SGレースの場外発売も行われ、前月比12%増となったものの、3か月前に比べると4%減少した。本場売上としては停滞している。	
	悪く なっている	コンビニ（店 長）	販売量の動き	・天候不順の影響もあるが、夏以降の売上減少ならびに前年割れが止まらない。FC本部の施策も効果が薄く、回復は見込めない。
衣料品専門店 （経営者）		来客数の動き	・来客数、販売量、売上高、全てにおいて前年を下回っている。周辺の店も同様の回答。	
企業 動向 関連 (四国)	良く なっている	—	—	
	やや良く なっている	食料品製造業 （商品統括）	受注量や販売量の動き	・低価格帯の商品であるが、利益率の改善が見られる。
		パルプ・紙・紙 加工品製造業 （経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品が売れるシーズンなので、売上増が期待できる。
		通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・競争環境に変化はないが、ここ3か月の受注は一定数を確保できており、今後も大きな変化は無いと考えられる。
変わらない	繊維工業（経営 者）	受注量や販売量の動き	・全体的に、売上は前年並み。都市部では厳しい状況の小売店もあるが、新しい小売店やモールが開店するなどの新陳代謝があつて販売は順調である。しかし、地方の小売店は非常に悪い。	
	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光発電の買取を電力会社が中断すると発表されたが、残っている工事がたくさんあつて仕事に差し支えはない。ただ、新規受注ができない不安は大きい。	

	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・得意先の受注量に大きな変化はなく、受注単価についてもわずかである。		
	建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注高、売上高とも横ばい。		
	建設業（経営者）	競争相手の様子	・公共事業量はわずかに増えているが、企業や業種によっては受注量や手持ち仕事量に相当の違いが生じている。特に、非兼業の中小企業が苦戦している。		
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・10～11月は全く受注が伸びていない。		
	輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・順調であるものの、環境の回復が見られない。		
	輸送業（営業）	取引先の様子	・景気低迷による売上減少や燃料油の高止まりなどから、廃業する運送業者も出始めた。地方の運送業者が苦戦するなか、本州の中堅業者が地方市場の開拓を進めており、今後も地方業者の買収が増えていくのではないかと。		
	公認会計士	取引先の様子	・円安が原材料高につながり非常に厳しいという意見が多い一方で、道後のホテル街は観光客増が見込まれている。企業によってプラス面とマイナス面が出ている。		
	やや悪くなっている	食料品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・円安の影響で、海外から調達する原材料が高騰して製品コストが上がっているが、販売価格に転嫁できず、利益が下がっている。	
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・主力の造船関連は低水準で現状維持。産業用機械等は受注案件が少ない。	
		輸送業（支店長）	取引先の様子	・在庫調整のため生産工程がストップし、原料の投入や製品の輸送量が大幅に減少している。	
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・景気の良い企業と悪い企業の格差が大きくなってきている。	
	悪くなっている	—	—	—	
雇用関連	良くなっている	—	—	—	
(四国)	やや良くなっている	職業安定所（職員）	それ以外	・10月の月間有効求人倍率は1.06倍で、3か月前に比べ0.04ポイント上昇。	
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・有期労働契約終了が確定した段階でも、次の職への焦りが見られない。	
		人材派遣会社（営業）	求職者数の動き	・ここ数か月は求職者の動きが停滞し、求人ニーズに対応できる人材の確保が厳しい。仕事はあっても労働力の確保が出来ないため、十分なサービスの提供に悪影響が及ぶ。	
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・派遣登録する求職者の数が激減している。求人は増加傾向にあるが、ミスマッチが目立つ。	
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・愛媛県の有効求人倍率は、1倍を少し超えている状況が続いている。企業側の人材不足は解消できておらず、打開策も見つかっていない。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・建設業では人手不足の状況にあるほど受注が順調であるものの、衆議院選挙の影響から宴会がなくなる等、お金の還流に水を差されている。年末が近付いているが、夜の街は閑散としている。広告予算を東京の本社扱いにする企業の動きがあるなど、地方経済に光は見えない。	
		職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・求人数は増加しているものの、非正規社員の募集が過半数を超えており、募集条件にも変化が見られない。	
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・10月以降、少しずつ求人数が減少している。経済の不透明さのなかで、企業側は採用に関して慎重になってきており、来春の新卒採用人数は現状維持か、若干減らす企業が多い。	
		やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・10月は、非自発的離職者数が増えている。
		悪くなっている	—	—	—